

市政レポートは、市議会定例会の翌月（1, 4, 7, 10月）に発行しています。

希望にみちたまち

足利市民憲章のなかに「足利市は希望にみちたまちです」とあります。今、市主催の行事では市民憲章を唱和しています。「希望にみちたまち」「伸びゆくまち」本当にそう思っている人が何人いるのかいつも疑問に思っていました。

そこで、今回の議会一般質問ではこのことにも触れました。大切なのは現実との違いを非難することではなく、どうすれば希望にみちたまち、伸びゆくまちと皆が思えるようになるかです。私はそうした視点から、今は子育てと教育に力を入れるべきと訴えました。

本市は小山市と比べると、人口規模は同じでも子供が少なく、高齢者が多い人口構成になっています。将来のことを考えると、若い世代を増やすことが急務といえます。そこで、仕事は市外でも住まい（子育て・教育）は足利、となるような施策に重点を置くべきと主張しました。

今回の議会では、具体的な各論というよりはもっと大まかな、夢のある提案を試みました。ひとつは「足利市からノーベル賞を」と掲げて、小規模校の第一中学校と隣接する足利工業高等学校に、理数系に特化した中高一貫クラスを設けるというものです。高校は県立なので、もちろん市単独ではできない話です。しかし、そうした提案を市から県にしてもいいのではないのでしょうか。もうひとつは、足利学校からの発信という視点で、足利学校で子供サミットを開催するという提案です。具体的には環境子供サミットなどがいいかもしれません。これもまた夢物語ではありますが、足利学校から全国へ発信、という視点は重要であると考えます。



織原 義明（おりはら よしあき） 略歴

- 1965年 足利市生まれ/西小学校、第一中学校、足利高等学校を経て
- 1989年 山形大学理学部地球科学科卒業
- 1990年 一般企業に入社 塾講師、制作、企画営業を経験
- 1996年 科技厅（現文科省）主導による地震予知研究プロジェクトに参加
理化学研究所研究員
- 2003年 足利市議会議員に初当選
- 2007年 足利市議会議員に二期目の当選、建設防災常任委員会副委員長

12月定例会一般質問より

◆ 旧西小学校跡地の活用について

(1) 現在の利用状況

<質問内容>

暫定利用となってからの校庭・校舎・体育館の利用状況はどうなっているのか。

<市側答弁>

地元の管理委員会によるデータでは、平成18年度の使用日数は、校庭が146日、校舎が40日、体育館が220日となっている。

<質問内容>

体育館の利用は年間の約6割で、暫定利用としてはよく利用されている。さらに校庭についても、個人的な利用をカウントするとほぼ毎日使用されていると思われる。跡地利用については、平成13年度の検討結果報告や和解条項に加え、こうした現状も考慮した上で検討すべきではないか。

<市側答弁>

庁内の検討会議では、そうしたことを考慮すべきかどうかといった先見情報を入れずに検討したい。

(2) アンケート調査の扱い方

<質問内容>

地元住民全戸を対象にしたアンケート調査の結果はどのように扱うのか。

<市側答弁>

まずは地元の皆様の意見を伺うためにアンケート調査を実施する。その結果については議会へも報告し、さらに跡地活用検討委員会の参考資料とする。

<質問内容>

アンケート調査の結果や跡地活用検討委員会のメンバーなどについての情報は、情報公開の対象となりうるのか。

<市側答弁>

アンケートの調査用紙は個人情報をもとめた上で情報公開の対象となる。委員会のメンバーについてもしっかりと情報公開をしていきたい。

<質問内容>

アンケートを実施したところで、財政的な理由で何もできない可能性も考えられる。今回の跡地利用の予算規模はどの程度と考えているのか。

<市側答弁>

予算規模も含め、跡地活用検討委員会の答申を待ちたい。

* 建設防災常任委員会行政視察 *

建設防災常任委員会の行政視察で金沢市と輪島市を訪れました。

11/1 金沢市「風格ある美しい都市景観形成に関する諸施策について」

11/2 輪島市「震災対応について」

金沢市には景観関連だけで11本もの条例が制定されています。そのなかの景観条例については、伝統環境保存区域と近代的都市景観創造区域に分けているところが特徴的といえます。眺望景観の保存については、残したい眺めという点で本市でも導入できるのではないかと感じました。織姫山からの眺望や渡良瀬川と中橋などいろいろ候補は考えられると思います。

輪島市では、昨年3月25日に発生した能登半島地震（最大震度6強）の震災対応について視察してきました。「下水道がだめだと上水道も使えない（→仮設トイレが必要）」「要援護者マップは民生委員の記憶で色分けして地図上に書き込んだものを使用」「ボランティアは10日間ぐらいすることがなかった」「物よりお金のほうが有り難い」など、貴重な話を聞くことができました。物資の提供やボランティアのことなどは、被災地の現状を考えて行うことの必要性を感じました。



地震で浮き上がったままのマンホール

★ 第3回オープンミーティング ★

市民の皆様との直接対話の場として設けた第3回目のオープンミーティングを、今回は織姫公民館で12月4日に開催しました。

11月の全員協議会で旧西小学校の跡地活用が取り上げられたため、このテーマで開催しました。前半は市側が考えている今後のスケジュール等をお話しし、その後、皆様からのご質問やご意見を頂戴しました。今回は地域性が強いテーマだったので、旧西校地区からの参加者が多かったのは当然です。しかし、地区以外の方も多く参加してくださいました。頂いたご質問やご意見は、前ページにありますように、議会一般質問に活かしました。

織原義明のおもな活動(2007年10~12月)

- 10月1日 第9回都市経営セミナー(東京)
- 10月3日 足利市戦没者追悼式(市民会館)
- 10月6日 足利工業大学創立40周年記念式典
- 10月11,12日 第69回全国都市問題会議(静岡市)
- 10月17日 危機管理産業展2007(東京)
- 10月19日 議会改革推進協議会理事会、全員協議会、建設防災常任協議会、議会だより編集委員会
- 10月20日 第5回自然エネルギー利用総合セミナー(足工大)
- 10月21日 西校地区合同防災訓練
- 10月24日 議会改革推進協議会理事会
- 10月27日 善循環の輪 栃木の集いin足利(市民会館)
- 11月1,2日 建設防災常任委員会行政視察(金沢市・輪島市)
- 11月8日 市側との会派予算要望および市政懇談会
- 11月9日 足利市立第一中学校創立60周年記念式典
- 11月11日 2007足利市消費生活展
- 11月16日 両毛六市若手議員懇談会研修会(太田市)
- 11月20日 全員協議会、建設防災常任協議会
- 11月22日 議会運営委員会
- 11月23日 足利学校「釋奠(せきてん)」、草雲美術館紅葉を観る会
- 11月28日 足利市防災会議
- 11月29日 第25回足利市建築文化賞表彰式
- 11月30日 全員協議会、市議会12月定例会本会議
- 12月4日 第3回オープンミーティング(織姫公民館)
- 12月7日 市議会12月定例会本会議
- 12月10日 市議会12月定例会本会議にて一般質問
- 12月12日 建設防災常任委員会
- 12月15日 足利歯科医師会創立70周年記念 市民公開講座
- 12月19日 議会運営委員会、市議会12月定例会本会議、議会だより編集委員会

※ホームページでは、毎週の活動報告等を随時更新しています。

<http://www.watarase.ne.jp/orihara/>

<政務調査費の公開>

足利市では市議会議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として議員個人に対し、政務調査費を交付しています。その額はひとり当たり年間100万円です。

収支報告は1年単位で行われ、その収支報告書は情報開示により閲覧が可能です。また、領収証の添付も義務づけられています。

5~12月分合計(暫定)

収入 666,000円 - 支出 614,656円 = 51,344円

<内訳>

研究研修費：94,530円、調査旅費：21,512円、資料作成費：20円、人件費：0円

資料購入費：117,717円、広報広聴費：301,165円、事務費：79,712円、その他の経費：0円